

“大きな感動と確かな成長”があふれた行事！

校長 渡辺 宏

6月1日（土）の当日まで、実行委員会を中心に、平成25年度バージョンの“運動会”の成功を目指し、学校全体が一丸となって、大きな河の流れのように動いておりました。

今年度がスタートしてまもない4月5日（金）より、“運動会”に向けた準備をスタートさせておりました。体育科の担当者は春休みから準備を進めていたわけです。

第1回実行委員会を4月18日（木）に行い、組織作り、実施要項・選手決めの説明、全体・学年スローガン等について話し合いを行いました。

練習は5月20日（月）より、ほとんど毎日のように行われました。7時40分～8時10分までの朝練習、学年練習、全校練習、予行練習、色別練習等。限られた時間設定の中でしたが、生徒たちの今までとは違う精神的・体力的に、疲労などを背負いながらも頑張っている姿を目にしてきました。

3年生にとって、「中学校生活最後の“運動会”に、精一杯ベストを尽くして完全燃焼したい。」また、運動部は最後の公式戦である夏季大会に向けた練習に最善を尽くしているところ。さらに、生徒によっては、運動会応援団員として“ソーラン節”の練習等。そのような状況において、何よりも心の支えになったのが、生徒会役員や実行委員会、そして3年生を中心にリーダーシップを発揮している生徒たちの誠実な姿でした。運動会実行委員会が掲げた今年の全体スローガンは“一心不乱”。団のスローガンは、赤団“∞ 大笑利”と白団“Do Our Best!!”。私たちは、この強い思いの生徒たちの心を糧として、ともに当日を迎える準備をしてきました。

“運動会”では、出場したどの種目や競技においても全校生徒が精一杯の力を発揮し、爽やかな中に、“大きな感動と確かな成長”をご来場いただいた保護者や地域の皆様に披露してくれました。私は、本校の“運動会”は初めて経験いたしました。が、“東原スピリット”を満喫することができ、大きな行事を終えることができましたことに感謝いたします。

この素晴らしい成果の陰には、ご家庭や地域の皆さまの大きなご支援・ご声援がございました。改めて心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

第64回杉並区立東原中学校運動会応援団“南中ソーラン節”記念 2013年6月1日



第1回“花咲け！フラワーボランティア”活動が行われました。

学校支援本部のご支援のもと、第1回のフラワーボランティアが6月20日（木）の放課後に実施しました。この活動は環境美化として、生徒・保護者・教職員・学校支援本部のチームワークで成り立っています。当日は、梅雨の時期ですので、残念ながら天候に恵まれませんでした。雨の中予定したスケジュールをこなすことができました。

学校支援本部・環境美化部の皆さまには、入学式に向けた花の手入れより活動いただき、本校にとって、清潔感や季節感一杯の中、新入生を迎えることができいております。また、ボランティアに参加する生徒たちも増えてきており、今回は、3年生～1年生まで、男子37名・女子27名、合計64名がエントリーいたしました。

“杉並中学生生徒会サミット”について

日本全国で“いじめ”が大きな社会の問題となり、今年度杉並区立中学校では生徒会を中心に、生徒達の手で“いじめ追放”運動に取り組むことにいたしました。来る8月4日（日）セッション杉並において、“杉並中学生生徒会サミット”が開催されます。

本校では、5月15日（水）に生徒会役員にこの取り組みについて説明し、5月20日（月）の朝礼において、生徒会長より全校生徒に取り組みの趣旨が伝えられ、6月10日（月）学校委員会で討議し、6月18日（火）と6月25日（火）各学級で話し合いました。

各学級で話し合われた意見は、7月3日（水）の学校委員会に持ち寄り再討議する予定です。保護者・地域の皆さまにも、生徒たちの取り組んでいる内容をお伝えいたしますので、ご理解いただき、ご支援をお願いいたします。

“ねらい”（東原中学校）

- ・「“いじめ”とは何か」を考える機会とする
- ・「どんな行動が“いじめ防止”につながるか」を考える機会とする
- ・人権やコミュニケーションの大切さ、気付くことの大切さを再認識する

※動機付け：昨今の世情（いじめ防止法案の検討等）から、「“いじめ”を生まない学校づくり」を東原中学校としても考えていこう

“中学生とともに、安全安心な社会について考える教室”を実施しました。

荻窪警察署のご指導のもと、第2学年は6月24日（月）の1校時に視聴覚室において「中学生とともに安全安心な社会について考える教室」を開催しました。この事業は、～警察署長から学ぶ犯罪被害防止中学校出前講座～と称し、荻窪警察署と済美教育センターとの共同事業です。

この活動は、「振り込め詐欺」などの社会的に問題となっている犯罪行為を題材にした話し合い活動や警察署長からの講義から、生徒一人一人の犯罪に対する理解や認識を深め、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成を図るとともに、学んだことを家庭や地域に広げ、健全な社会づくりを目指すことを目的としています。

当日は、警察署員の方々が行うロールプレイを見た後、2年生A・Bクラスが生活班を単位に、質問項目について、原因や解決策、自分自身の意志について討議し、その結果を班の代表者が発表しました。「振り込め詐欺」への対応策では、予防的な方法としての家族関係について、警察署長から、「中学生らしい柔軟な考え方で素晴らしい。」とお褒めの言葉をいただき、また、生徒同士の仲の良さに感心されておりました。

生徒一人一人の確かな力になりました。家族の方々を守る力につなげてください。